

リスク研究センターとは

リスク研究センターは現代のビジネス社会におけるリスク分析やリスク管理の需要に応える研究を行う新しい機関として、2004年2月に滋賀大学経済学部設置された。滋賀大学教員の幅広い研究フィールドを生かし複雑化する経済活動、社会構造、そして国際関係に伴い拡大するリスクに焦点を当てた研究を行い、その成果の蓄積と社会還元を遂行することがセンターの目的である。

主活動領域

リスクの存在は広範囲の分野にわたるが、次に掲げた分野に焦点を当て取り組む。

- 金融リスクの理論と実証研究
- 環境リスクにおける新しい視点と分析
- 経済・社会リスクについての統合的な研究

20世紀をグローバル化の時代とするならば、21世紀はリスクの時代と位置付けられる。今日、世界は大きな変革の中にあり、経済、社会は天災も含め様々な予期せぬリスクにさらされている。謙虚に人間の限界を知り、その中で最善を尽くすにはリスク研究は欠かせない。地域に立脚する現代の国立大学として滋賀大学の社会的貢献がそこにあると考える。社会科学系の唯一の「リスク専攻」の大学院博士後期課程を有する大学として、効果的なアプローチと洞察力ある分析によってこれらのリスク事象に正面から取り組んでいかなければならない。

リスク研究を深め、蓄積し、内外においてこれを推進する母体として滋賀大学リスク研究センターは存在する。



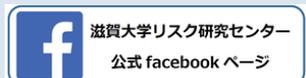
滋賀大学経済学部附属リスク研究センター

〒522-8522 彦根市馬場1丁目1-1

TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189

e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp

URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/risk/10/2/>



Shiga University

リスク研究センター

経済学部付属

国立大学法人 滋賀大学

Center for Risk Research



リスク研究センターの主な研究活動

国際カンファレンスの運営

◆第12回アジア金融市場国際カンファレンスを開催

平成29年1月7日(於:京都テルサ)1月8日(於:滋賀大学彦根キャンパス)にて、第12回アジア金融市場と経済発展・国際シンポジウム(International Conference on Asian Financial Markets and economic Development)が、滋賀大学・長崎大学・西南財経大学との共催で執り行いました。会場を二日間で別の場所にするという難易度の高いものでしたが、学会運営担当者全員の協力により無事に執り行うことが出来ました。発表希望数が多かったため、同時に二つのセッションを同時に走らせる方式で合計28本の研究報告を行いました。



◆第1回国際シンポジウム-RESSU-を開催

リスク研究センターでは、平成29年11月17~18日に滋賀大学彦根キャンパスにて、リスク研究センターが単独で行う国際シンポジウム「Risk in Economics and Society, Shiga University (RESSU)」を開催いたしました。

本シンポジウムは、滋賀大学経済学部が研究の基点となれるように、経済学を中心とした幅広いリスクに関連する研究報告の場として企画をしたものです。初年度となる平成29年のシンポジウムテーマは、Asian Economies in the Globalized World「グローバル化する世界におけるアジア経済」として、世界中に広報を行い、最終的には14本の研究報告が行われました。

1月の国際学会よりは小規模になりましたが、今回のRESSU(レスー)への参加者の研究報告には素晴らしいものが多くありました。それもそのはず、参加者の所属には世界の有数な大学であるコロンビア大学(米国)や香港市城大学(香港)が含まれていたことから明らかです。また、ジョージア工科大学(米国)・グアナファト大学(メキシコ)・西南財経大学(中国)の研究者、日本国内大学在籍の外国人研究者や博士後期課程留学生、国際的に活躍している国内研究者の参加もありました。本学経済学研究科の修士院生も、授業の一環として多くの参加がありました。

客員研究員制度

リスク研究センターは、公募型の客員研究員制度を設けています。本センターの公募型客員研究員になるための応募資格は、本学以外の博士後期課程に在学中の大学院生、もしくは既に博士号を取得しているポストドクターとなっています。これは、若手の研究者を中心に学外での研究経験を積む場を提供することで、滋賀大学として日本全体の学会への貢献を果たすことが目的となっています。

平成29年よりスタートした本制度により、平成29年度は11名、平成30年度は9名の客員研究員を任命し、全員が積極的に滋賀大学における研究交流に参加して頂いています。この制度をきっかけとして、他大学の若手研究者と滋賀大研究者の交流が進めばと期待しております。



先端研究セミナーの運営

リスク研究センターが運営するセミナーでは、ミクロ・マクロ・計量・金融・医療・社会学、その他の応用分野も含む最先端で活躍している研究者を招聘し、セミナーを年間10回以上行い、学外との研究交流を積極的に推進しています。



リスク研究センターの主な出版物

リスク研究センターは、書籍出版における助成制度や、ディスカッションペーパー、情報誌リスクフラッシュ(月1回発行)などを通してリスクと不確実性に関する学問研究活動を支援しています。また、リスク研公式facebookページよりタイムリーな情報配信も行っております。

情報誌リスクフラッシュ



ディスカッションペーパー

